

市民の為の市政にする為に!

宮間 文夫 議員



平成28年市議会第3回定例会の一般質問で、トップバッターを務めさせていただきます。宮間文夫でございます。リオオリンピックも終わりましたね。今回も、たくさんの感動を選手の方からいただきました。本日にスポーツはいいですね。これからパラリンピックが始まると思いますが、一生懸命プレーする選手を応援して、また感動して、生かされている喜びを共有したいものです。去る7月29日に、第27回千葉県反核平和の火リレーが行われ、本市のメッセージが読み上げられましたので、ここでご披露させていただきます。と思います。本日ここに、千葉県反核平和の火リレーで本市にお越しくださった皆様を歓迎いたしますとともに、反核平和活動にご尽力されている皆様に敬意を表します。本市

では、昭和61年に非核平和都市宣言が議会において決議され、平和行政の推進に取り組んでまいりました。本年も、原爆被爆と戦時下の郷土資料展をはじめ、ピースバスツアーや戦争遺跡ツアーなど、各種平和事業を展開いたしますが、これらの取り組みを通して、より多くの方々に戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えていけるよう、努めてまいります。結びに、この反核平和の火リレーが無事終了いたしますとともに、一日も早く核兵器のない平和な社会が実現することを祈念申し上げます。とのことでした。私は、すばらしいメッセージだと思っております。本日に一日も早く、核兵器のない平和な社会を実現するように、大網白里市民が力を合わせて運動してまいります。

前回の一般質問の際、執行部の答弁があまりにも冷たいものでしたので、再度質問させていただきます。歴代の総務課長に提案した際にも一つは市役所が海抜どのくらいに位置しているのか、とどこどこにそういう表示をすることが、市民にとってありがたいことじゃないでしょうかと提案させていただきました。その後、あのような災害がありました。その後、あのような災害がありました。その後、あのような災害がありました。その後、あのような災害がありました。

これは郡や県の大会は誘致不可能稼働率、整備状況、今後の考えは。答 増穂地区の稼働率は昨年度で2面が63%/46%、みずほ台は同じく84%/71%と大変高い。現時点では増設する予定はありません。問 スポーツで市の名前を広める事も考え、取り組むよう願います。問 小学校プール。7月中旬にプール授業が終わり、本日に暑い時期に泳げない。夏休み、開放あるいは活用できないか。答 健康づくりの観点から、また子供達の居場所を確保する意味からも学校プールを活用、指導する事は有意義と認識します。一方、夏休みにおける教職員の勤務や行事等との調整、プール使用に伴う維持管理費等の確保なども踏まえて、次年度からの実施に向け検討してまいります。問 前向きな答弁を、ありがとうございます。 ※その他、移住者への受入支援策について、マイナンバー制度、アリーナの活用状況等、質問しました。

子育て総合支援施設や病院の誘致、市民の健康づくりの為の施設整備を

森 建二 議員



「市内には大きな会社がないから税収が少ない、誘致すべき」との声を聞きます。例えば浦安市。財政力は全国トップ。多くの方は「TDR効果」と考えるでしょう。でも、浦安市長によると、税収のうち法人市民税、会社からの税金は1割程度、8割は個人市民税と固定資産税。浦安市は東京に通う所得の多い市民によって支えられているとの事です。大網白里市は、28年度税収の約87%が個人から、残り13%が法人から。会社はなくても人材は豊富。更に新しい住民に来て貰うため、住みよいまちづくりを推進していく事が一つの方向なのではないでしょうか。○みどり丘市有地について 問 子育て支援施設や医療施設を擁した開発が行われる見込みとなった。住民増に繋がる。進捗状況、今後の

計画。又、子育て支援施設の具体的計画、そして産院・小児科について。答 国の地方創生交付金の交付決定を受け、基本計画に着手、具体化を図ります。年度内に施設の機能や規模、配置計画、概算事業費と資金調達方法、参画事業者の選定方法等を検討します。次に子育て支援施設は、2種の機能を想定。親子の交流や相談や援助などを行う子育て支援機能、学びや遊び、集いの場を提供する学童保育や児童館的な機能を考えます。続いて産院・小児科は、県内の医療法人や医師と協議を重ねており、誘致の実現に向け努力します。○市民の健康づくりについて 問 先日のおリンピックで本市出身テニス選手の活躍を鑑み、テニスコート施設について。市内では増穂に2面・みずほ台に2面の合計4面。

市民のご要望を叶えていくこと、それが私たちの責任でもあるのだ!

石渡 登志男 議員



地震等の大きな災害は、私たちの生活をいとも簡単に断ち切ってしまうほどの巨大な力を持っている。私には以前の一般質問で市の防災に対する対応は「あまりに遅い!」と言わせていただいた。ある意味、市に対する苦言でもある。災害時における市民の方々の安全・安心のために、市や議員が力を合わせ、強力を推し進めていくのではないかと! 問 津波避難訓練時、白里小を登校日にすべきと、また地震体験車を県から借りる、そして東日本大震災を体験した方々をお呼びし話をしていたと、こういった事を一貫して訴え続けてきたが、今回この全てがやっと実行に移される。大変素晴らしいこと。よって、これ以上言うべきことはない。これでよしだ! 問 駅前歩道の屋根の設置について

は私の質問に対する26年9月議会「屋根の設置方法等の調査、それを今年度行った上で、屋根の設置を進めてまいります。」と、市長の答弁があった。ではその進捗状況は? 答 昨年の9月に設計業者が決定し関係機関と協議を行っています。ただ、JRとの協議で東金線側歩道のJRの土地を購入していただきたいとの要請があり将来の駅前広場の一部として不可欠な用地の為、市が購入に向けて検討しています。早期の整備着手に向けて努力していきます。問 白里中央海水浴場だが、今年9万6千人、年々来客数が減少。逆に勝浦市は32万1千9百人。2万1千9百人も増やした。勝浦市は安全・安心な海水浴場の確保の為、警察官OBや警備員が巡回している。市が強力な援護射撃を行い、また、

安心・安全・魅力あるまちづくりを目指して

山田 繁子 議員



問一 若者の政策形成過程への参画について。①(若者会議)若者の視点や意見をまちづくりに生かす取り組みについて。②青少年モニター制度の取り組みについて 答 市としても若い世代が自発的にまちづくりに参画し、その視点や意見を市政に活かすことが重要であると考えている。「青少年モニター制度」も含めて、若い世代の意見を活かしていく為、効果的な方法を検討していく。問二 公共施設を利用した熱中症対策について。現在中央公民館、本庁舎のロビーを熱中症対策に開放されているが、高齢者が多い本市、中部コミュニティセンターや白里公民館も市民サービスとして開放されたらいかがか。 答 白里公民館と中部コミュニティ

センター、大網地区以外につきましても休憩所は必要と考えますので今後関係課と協議してまいります。問三 増穂幼稚園の送迎時安全への対応策について 答 増穂幼稚園の送迎用駐車場は、幼稚園までの距離も遠く、とくに雨天時には不便をかけていた。この改善策として増穂中学校駐車場内の南側部分20台余りを確保し、9月から園児送迎の為に本格的に利用できるようにします。問四 車椅子利用者に対する自立支援を促す福祉車両(車椅子自動収納装置)に市独自の補助金の対応策について 答 身体障害者用自動車の改造費の助成については、現在運転に直接関わる部分の改造費を対象としている。

私が提案した各種イベント等を実施し、県内トップレベルの海水浴場にしていくのではないかと。 答 安全で安心して楽しめる海水浴場の運営や海水浴客のニーズを捉えたイベントの実施等、様々な取り組みをしていきます。問 細草地区の99人の市民要望による舗装道路についてだが、これは24年12月に請願として出されている。委員会や議会でも全議員一致した採択。議会は、住民の要望に添えてその実現を図り、そして最後までその責任をとるべきものである。高齢者は道路の凸凹で転び膝蓋骨を割る大怪我。99人の署名と委員会や議会の重さを市もしっかりと認識していただきたい。そして前に進めるため何とか対応を考えていただきたい。 答 早期の実現は困難ではありますが、工事にあたり必要となります官民境界立会いの為の地質調査につきまして、来年度より実施してまいります。*これ以外に津波監視カメラやプラセル九十九里等の質問も行った。

障害がある方の自立支援という観点から、国及び近隣市町村の動向を注視しつつ今後の課題とする。問五 食品ロス削減に向けての取り組みについて。学校教育や食育、環境教育などを通しての食品ロス削減のための啓発や市民、事業者が一体となった取り組みを進める事が必要ではないか。 答 市内学校給食では、5%から15%の食品ロスとなっている。健康維持増進と「食育」を推進していく。市民、事業者がそれぞれ削減への意識を持ち「持ち帰り運動」など市民事業者が一体となり、取り組む事が重要であると考えている。関係各課と連携し啓発活動に取り組んでいく。問六 山田台大網白里線大網病院前のバス停に待合所の設置について 答 今年度、市において、地域公共交通網形成計画の策定を進める予定である。この計画策定の過程で、大網病院前バス停上屋も検討を行う。その他プール施設利用助成事業の拡大について質問しました。

注 内容は各議員からの原稿をそのまま掲載しています。掲載の順番は、一般質問の登壇順となっています。